

2011年度中間期 決算參考資料

2011年11月9日
樂天銀行株式会社

1.業績サマリー(管理会計による参考資料)

■基礎収支の推移(2010年度第2Q～2011年度第2Q)

(単位:百万円、単位未満切捨て)

項目名	2010年度			2011年度		前年同期比
	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	
決済事業	1,430	1,465	1,111	1,461	1,586	10.91%
カード事業	309	243	296	322	318	2.64%
金融商品事業	503	487	535	537	542	7.65%
その他	266	375	444	372	338	27.28%
手数料関連収支 ①	2,510	2,572	2,387	2,694	2,785	10.97%
運用関連収支 ②	1,369	1,289	1,613	1,521	1,358	▲ 0.83%
営業経費 ③	3,004	3,165	2,902	3,091	3,233	7.61%
基礎収支(ローン事業除く)(①+②-③) ④	875	696	1,098	1,124	910	4.00%
ローン事業基礎収支 ⑤	436	410	486	546	695	59.39%
基礎収支合計(④+⑤) A	1,312	1,107	1,585	1,670	1,606	22.43%
非基礎収支 B	▲1,167	▲360	▲877	312	▲286	-
経常利益(A+B)	144	746	707	1,983	1,320	812.93%

手数料基礎収支(①-③)	▲494	▲593	▲514	▲396	▲447	-
基礎収支合計(月次平均)	437	369	528	556	535	22.43%

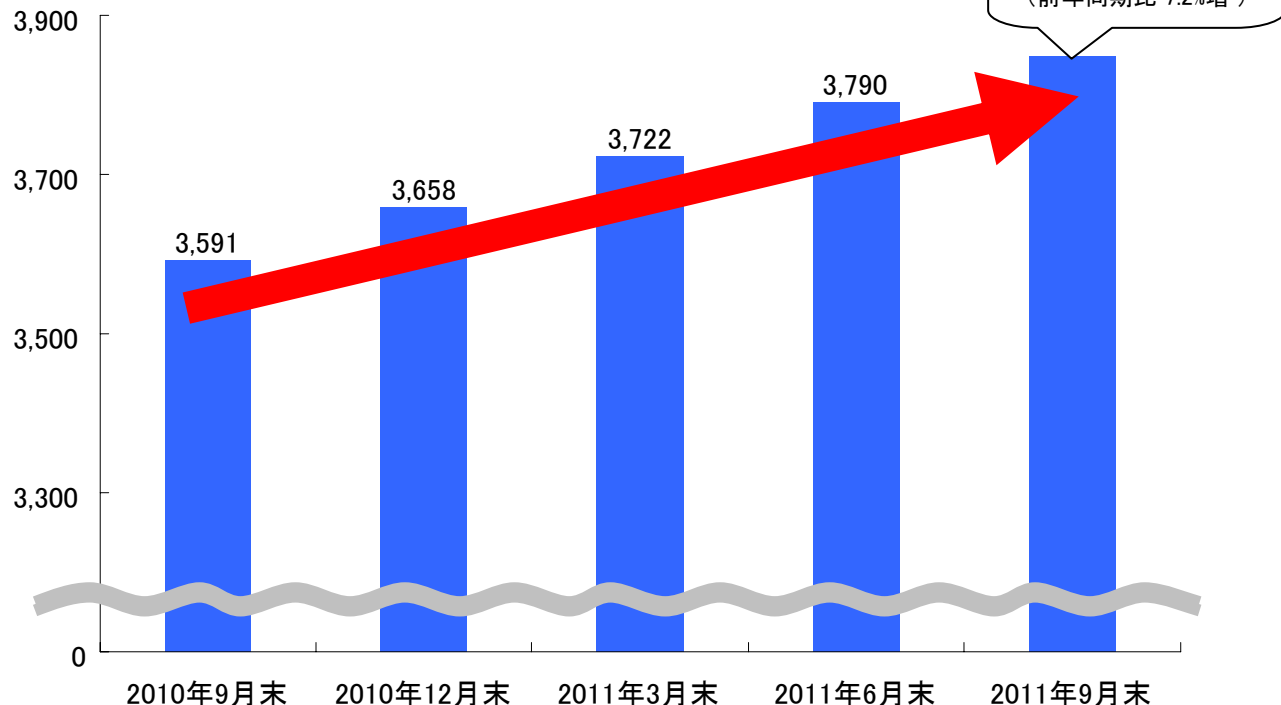
～用語の説明～

- ・基礎収支＝経常損益より投資運用の時価変動・売却等により発生した損益等を控除したもの。投資等による一時的な損益以外の本業での収支。
- ・非基礎収支＝投資運用の時価変動・売却等により発生した損益等による収支。

2.口座の状況

■口座数推移

(千口座)

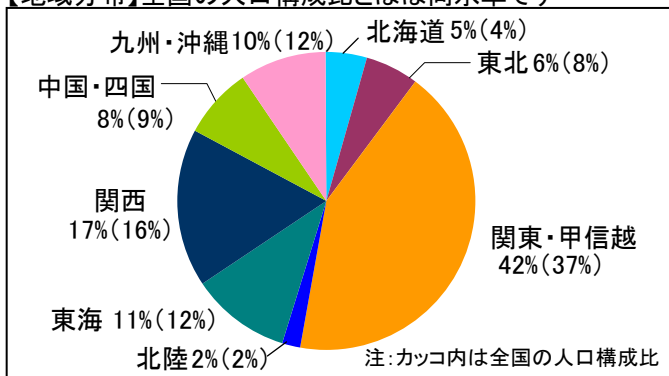


2010年9月末 2010年12月末 2011年3月末 2011年6月末 2011年9月末

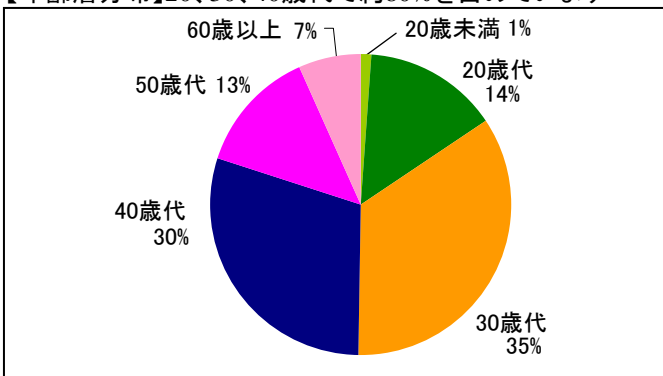
注: 上記「口座数」は、個人および法人の口座開設承認数の累計ベースで算出(解約件数を差し引いた口座数)

■個人口座の分布状況 (2011年9月末現在)

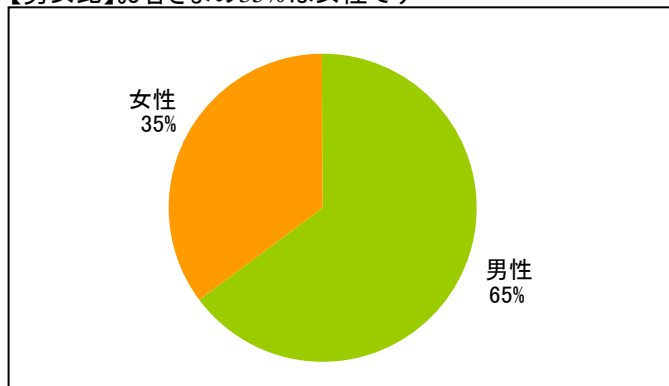
【地域分布】全国の人口構成比とほぼ同水準です



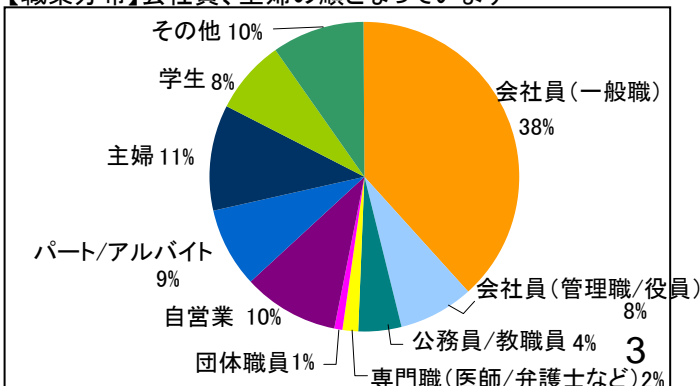
【年齢層分布】20、30、40歳代で約80%を占めています



【男女比】お客さまの35%は女性です

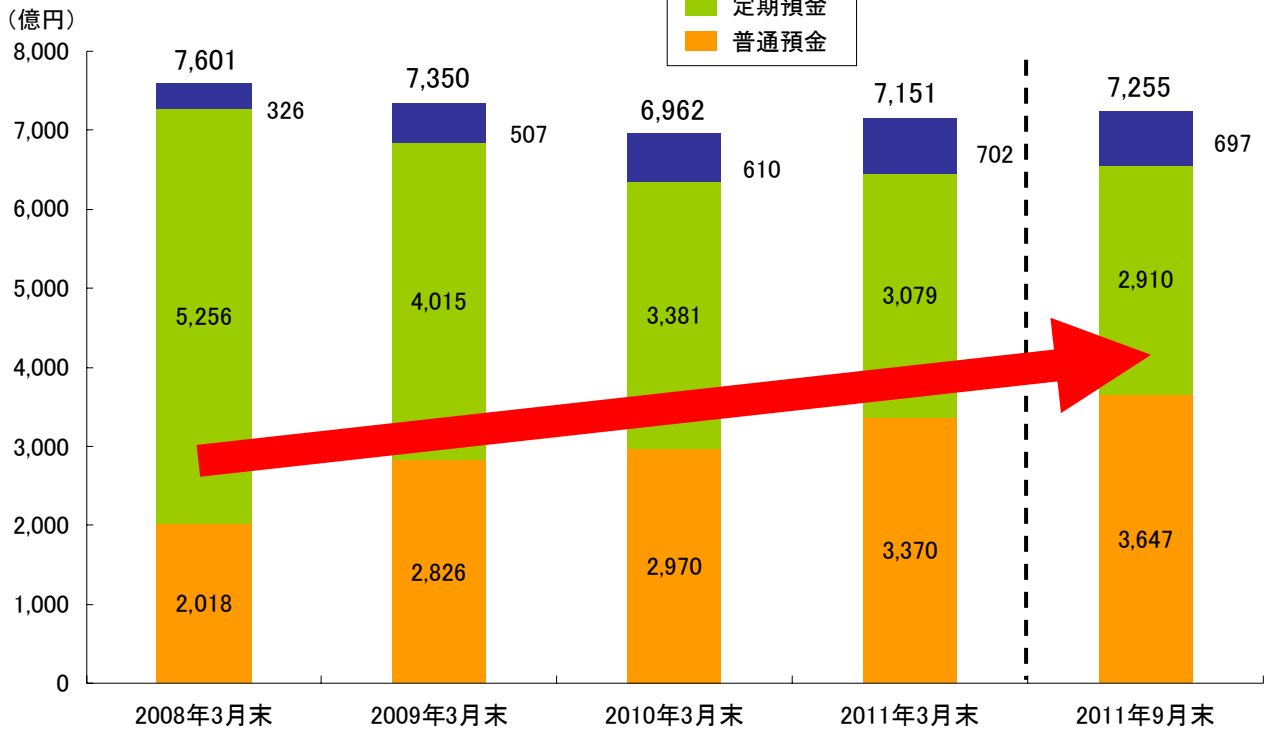


【職業分布】会社員、主婦の順となっています



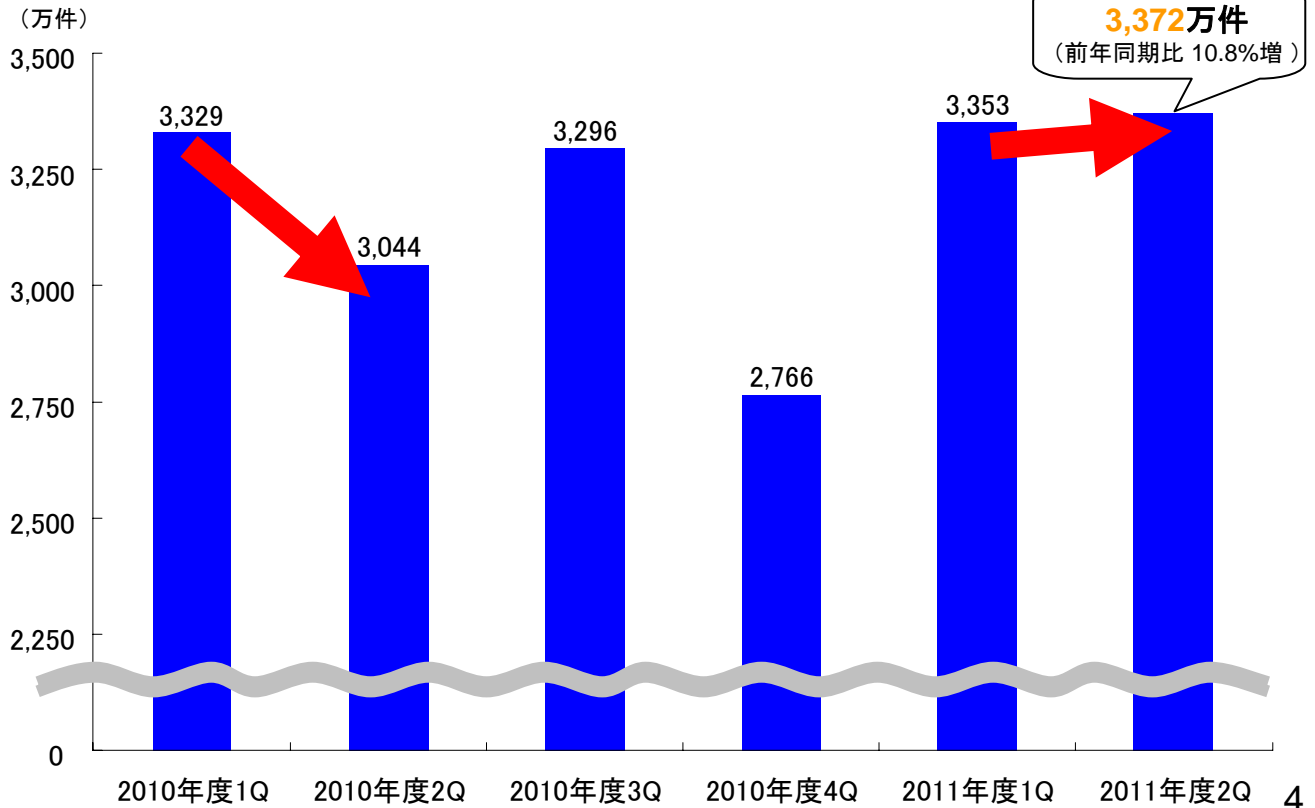
3.預金、決済の状況

■預金残高推移



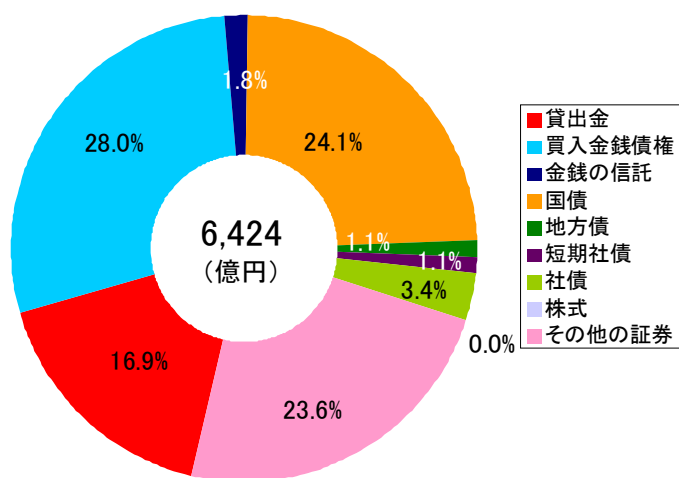
注1: 上記「預金残高」は単体ベース 注2: 普通預金は「その他預金」を含む 注3: 外貨預金は外貨普通預金及び外貨定期預金の合計

■決済件数推移

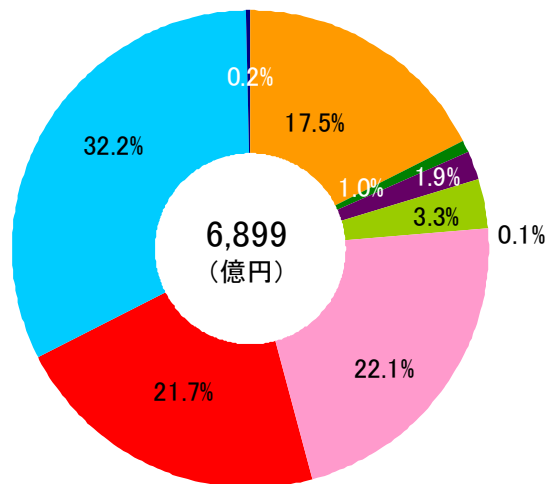


4.運用の状況

■運用資産内訳



2010年9月末



2011年9月末

注1: 上記「運用資産」は単体ベース

注2: 「その他の証券」には外国債券(含むCDO)及び外国株式を含む

注3: 「金銭の信託」にはファンドオブファンズを含む

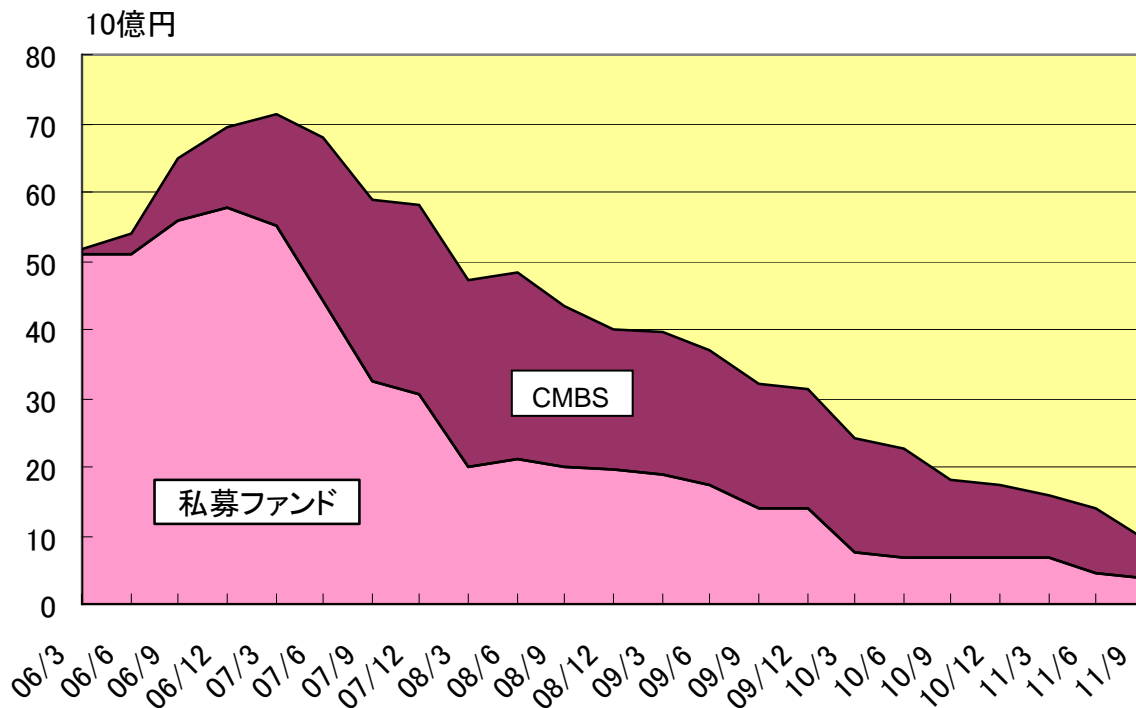
■保有証券化商品等の状況

(単位: 億円、単位未満切捨て)

	2011/3末 時価残高	2011/9末 時価残高	増減額	含み損益 (B/S計上額)
証券化(金銭債権信託受益権)	2,122	2,378	255	5
ファンド等	63	49	▲14	2
ヘッジファンド	40	24	▲15	0
その他	23	24	0	2
証券化(不動産)	152	95	▲57	0
私募ファンド(時価無し)	65	39	▲25	—
CMBS(時価有り)	87	55	▲31	0
CDO	34	29	▲4	▲0
合計	2,373	2,553	179	8

5. 2011年度第2四半期のトピックス

■不動産証券化案件の残高推移



■商品・サービスのトピックス

7月

- ・住宅ローンの審査が最短3営業日で完了する「楽天銀行ファストパス」を開始。
- ・開業10周年を記念して、懸賞論文の募集と奨学金制度を実施。



Thank You!

皆さまに支持されて、10年。
ネットバンク口座数 No.1

- ・スマートフォン向けアプリケーションをバージョンアップし、専用サイトを構築。

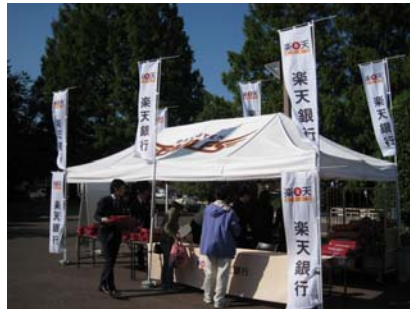


9月

- ・顧客優遇プログラム「ハッピープログラム」を通じて、楽天証券での取引に応じた楽天スーパーポイント等の特典を提供開始。

■顧客向けイベントを実施

クリネックススタジアム宮城で開催された楽天イーグルスvs西武ライオンズの試合を、「開業10周年記念 楽天銀行ナイター」として協賛。当行顧客150名さまをご招待。



Jリーグのヴィッセル神戸ホームスタジアムにおいて、「楽天グループデー」を開催。エコプロジェクトとして、サポーターの応援により発電する床発電システムに協賛。



■CSR

楽天銀行で購入されたBIG1口につき1円を、東日本大震災によって大きな被害を受けた東北3県(岩手・宮城・福島)の体育協会を通じて、各県の学校やスポーツ少年団等へ、サッカー用品等を中心としたスポーツ用品や寄付金等として寄付する取組みを開始。11月6日時点の寄付予定金額は4,434,796円。



■英語公用語化に向けて

来年度からの楽天グループ英語公用語化に向けて、フィリピンの英語学校へ1ヵ月間の語学留学を実施。今年度中に計68名の社員が留学予定。